

## 第2回 紀の川市市章選定小委員会

日 時 平成 17 年 7 月 12 日(火)  
午後 1 時 30 分 ~

場 所 粉河ふるさとセンター 2 階視聴覚室

### 「紀の川市」市章募集結果

応募総数 1,584 作品

#### 市町村別応募数

|         | 応募数(作品) | 構成比   |
|---------|---------|-------|
| 打 田 町   | 257     |       |
| 粉 河 町   | 307     |       |
| 那 賀 町   | 160     |       |
| 桃 山 町   | 153     |       |
| 貴 志 川 町 | 386     |       |
| 5 町計    | 1,263   | 79.8% |
| 県 内     | 184     | 11.6% |
| 県 外     | 137     | 8.6%  |
| 総合計     | 1,584   |       |

#### 男女構成

|     |       |       |
|-----|-------|-------|
| 男 性 | 839   | 53.0% |
| 女 性 | 745   | 47.0% |
| 計   | 1,584 |       |

#### 年齢層構成

|             |       |       |
|-------------|-------|-------|
| ~ 高校生       | 468   | 29.5% |
| 18 歳 ~ 65 歳 | 937   | 59.2% |
| 65 歳 ~      | 179   | 11.3% |
| 計           | 1,584 |       |

#### 第 1 次選考

1,584 作品中から、北村特別委員により第 1 次選考として 30 作品の選考を行う。

#### 第 2 次選考

小委員会委員 13 名(欠席 2 名)により、第 1 次選考作品 30 作品から各 3 点を選び投票し、上位 7 点を選び再度その中より各委員が 3 点を選び投票し上位 3 点を選定。

第 2 次選考作品 3 点の類似調査を行い、類似したものがあつた場合に繰上げする為、次点作品 2 点も合わせて選定。

市章が決まるまで

#### 市章選定小委員会の設置

第 1 回紀の川市市章選定  
小委員会 4 月 12 日

#### 「紀の川市」市章募集

平成 17 年 5 月 9 日から  
平成 17 年 6 月 15 日まで  
(当日消印有効)

#### 第 2 回紀の川市市章選定

小委員会 7 月 12 日  
第 1 次選考 30 点中より、  
市章候補作品 3 点の選考

#### 第 14 回那賀 5 町合併協議会

平成 17 年 8 月 29 日(月)  
午後 1 時 30 分 ~  
打田町保健福祉センター  
ホール 田園  
最優秀作品 1 点(採用作品)、  
優秀作品 2 点の選定予定

## 第2次選考作品(3点)

図案は、写真を使用し縮小・色修正等を行い作品原本に近づけていますが多少色合いに違いがありますのでご了承ください。



|      |     |
|------|-----|
| 作品番号 | 269 |
|------|-----|

### 図案の主旨

紀の川市の文字「き」をモチーフに緑の自然と清流ながれる地、紀の川市を大きな輪で表し、元気で安心を中心の太陽で元気な人を表現し、交流の輪をまん中の輪で表しました。

その輪が集まって(市民と中心に行政・企業が力を合わせていくことを含み)未来に向かっていく「紀の川市」を描きました。



|      |     |
|------|-----|
| 作品番号 | 791 |
|------|-----|

### 図案の主旨

「キ」をモチーフに、リズムカルに弾む水の恵みを象徴化。

2つのブルーは紀ノ川と青空・明るく清らかな心。楕円形は恵みの大地。

5町の歴史・文化を守り、力強く躍動し未来を拓く。



|      |      |
|------|------|
| 作品番号 | 1495 |
|------|------|

### 図案の主旨

紀の川市の「紀」の文字をシンボライズし、自然の豊かさに包まれた快適な都市をデザイン。

市を象徴する「紀の川」の流れや、澄んだ空をイメージしたブルーを基調に、中心から交流の輪が広がる様子を描いています。